

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回枚方市自動車駐車場経営戦略に関する意見聴取会
開 催 日 時	令和2年9月28日（月） 午前10時から 午前11時まで
開 催 場 所	枚方市役所本館5階 塔屋会議室
出 席 者	委 員：熊谷 樹一郎、長濱 知和、福原 顕憲
欠 席 者	なし
案 件 名	・枚方市自動車駐車場経営戦略（原案）について
提出された資料等の 名 称	資料1 枚方市自動車駐車場経営戦略（素案） 資料2 枚方市人口推移表 資料3 交通量調査票（府道枚方茨木線） 資料4 料金改定想定収支計画表 資料4-1 収支計画表 資料5-1 近隣駐車場資料 資料5-2 枚方市駅周辺 自動車駐車場実態調査位置図 資料6 枚方市自動車駐車場経営戦略スケジュール
決 定 事 項	意見聴取会での意見を反映し、今後、庁内会議を行い、市議会へ報告する。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第5条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査等を行うため。
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	枚方市自動車駐車場経営戦略策定後に公表
傍 聴 者 の 数	—
所 管 部 署 (事 務 局)	土木部 交通対策課

聴 取 内 容

(開会 午前10時)

○事務局

第2回枚方市自動車駐車場経営戦略に関する意見聴取会を開催します。

本日の出席委員は3名で、全員出席していただいていることを御報告いたします。

お手元に配らせていただいている資料の確認です。第2回枚方市自動車駐車場経営戦略に関する意見聴取会の次第、資料1から資料6を配付しています。

枚方市自動車駐車場経営戦略（素案）の資料説明について

○事務局

資料2を御覧ください。枚方市人口推移表になりますが、枚方市推計調査2020年2月に発表された数字になっています。2019年の枚方市人口総計人数と2029年人口想定の人
数です。0歳から14歳、15歳から64歳、65歳以上という分け方になっています。

次に、人口減少比率ですが、全人口では、第1回の聴取会でお示した2019年から2029年の間に95%になっています。15から64歳では92%、全人口よりも若干多めの減少率を示しています。0歳から64歳、こちらの減少率はもう少し下がって、90%となっています。最後の15歳以上が98%の減少率を示しています。この表から読み取れることは、人口2019年から2029年までは、全人口は5%減少していますが、15歳以上の人口は2%減にしかなくなっていません。0歳から15歳までの人口の減少率が一番高いという数字がこの表から読み取れます。

今回、経営戦略（素案）の作成に当たりまして、収入が減少すると予想する中で、妥当な数字、15歳から64歳の数字の92%を使って計算している次第です。

資料3の交通量調査を御覧ください。第1回聴取会で御意見を頂戴していました枚方市の交通量の変化はどうなっていますかという御意見がありましたので、この表でお示しをいたしました。大阪府の交通量調査は、おおむね5年に1度の調査になりますので、一番新しい資料が平成27年度になっています。この調査路線につきましては、枚方茨木線という路線となります。

位置については、資料5-2の府道枚方茨木線を起点としまして、地図の左上の関西医科大学枚方病院の交差点を右下に流れていくような形になっています。この地図の右の禁野橋を越えたところに宮之阪2丁目交差点までを交通量調査の根拠としています。

資料3に御戻りください。この枚方茨木線におきまして、宮之阪2丁目の交差点を調査ポイントとした結果、ピーク比率、その交差点でのピーク時の平均旅行速度、そして自動車の24時間交通量の数値を示しています。ピーク比率というのは、24時間で通る交通量のうち、朝7時から9時、夕方5時から7時、この時間内に、その交通量のうち、何%の車が通っていますかというのが、ピーク比率になっています。平成6年が10.1%、平成17年で10%、平成27年度で10.1%、この数字は平成6年から27年までさほど数字が変わらないというのは、この道の交通量の流れの形態に、ほぼ変化がないということを表しています。

続きまして、混雑の平均旅行速度になります。こちらは、先ほど申しました時間内における、その交差点の平均速度を求めたものになっています。平成6年が8.7km/h、平成11年が8.2km/h、平成17年度が16.2km/h、平成27年度が13.5km/hになっています。これらの時速が上がっているということはこのピーク時において、交差点での交通の流れがスムーズになっているということを表していますので、平成6年から平成27年度におきましては、ピーク時においては、交通の混雑の状況が緩和されているということを表しています。

続きまして、自動車類24時間交通量になります。この資料は平成17年度と27年度のみ
の数字となっていますが、24時間でこの交差点を通過した車両の台数が平成17年度は1万7,000台程度、平成27年度は1万8,000台程度になっています。こちらの交通量もさほど変化はしていないのかなと読み取る資料となっています。資料としまして、次の欄に岡

東町駐車場の利用料収入を書かせていただいています。平成5年度は岡東町自動車駐車場が開設した年になっています。

そして、平成27年が最新の値になっていますが、平成6年度は7,000万円程度になっています。平成11年から27年度は収入の動きは少ないのかなと思うところをこの資料から読み取りをしています。

資料4の1枚目を御覧ください。まず利用者変更無しという資料ですが、本年度の9,938万2,000円という収入料が2030年度まで続くと想定したものの財政計画になっています。

資料4の2枚目は利用者8%減通減という資料ですが、2030年度までに利用者数が8%少なくなるというのを10年間に低減させてシミュレーションをしてつくったのが投資財政計画になります。これは10年間で、毎年8%ずつ利用者が減っていくという使用料収入を想定した財政計画になっています。

資料4の3枚目、利用者8%通減2022年に料金を値上げしていくという財政計画のシミュレーションをしています。収入の想定は、今、岡東町自動車駐車場の一時利用者数の人数を8%減していくというのと、一時使用の料金、30分100円になっていますが、20分100円で想定し150%の値上げという換算をさせていただいています。そして、人口は8%ずつ減少していきます。

また、資料4につきましては、今年度の4月から7月までにおけるコロナ禍において利用者が減少していますので、それに合わせて利用者を減じた数字を使っています。そして、その簡易版として資料4-1を3パターンつくらせていただいています。

資料5-1を御覧ください。枚方市駅周辺、概ね500メートル以内の自動車駐車場料金比較表になります。一番上の1、岡東町自動車駐車場におきましては、30分100円という料金設定になっています。平均滞在時間、最大利用時間数というのは、岡東町自動車駐車場におきまして、利用者の平均滞在時間が2時間になっています。30分という区切りの中で最大利用者数が多い区切りとしまして、90分となっています。それぞれの2時間と90分に対しまして、岡東町自動車駐車場は2時間、400円。90分、300円です。他の駐車場の料金を2時間と、90分に置き換えた数字が書いてあります。岡東町自動車駐車場を除く平均は792円、719円になっています。この資料より岡東町自動車駐車場が2時間400円に対して、平均は792円、岡東町自動車駐車場90分に対して300円は、500メートル周辺の駐車場について、岡東町駐車場は平均よりも安い料金設定になっています。

一番下の欄ですけれども、先ほど提案させてもらいました20分100円という料金設定にした際、岡東町自動車駐車場は2時間600円、90分500円になります。この値上げを想定した金額においても、駐車場の平均よりも安い設定になっています。資料5-2については、駐車場の位置図となっています。

最後に資料6は、今後のスケジュールとなっております。

以上、資料の説明といたします。

質疑、意見聴取

○事務局

資料2から5-2までで、何かご質問がございましたら、お聞きしていきます。何かありませんでしょうか。

○B委員

迷惑駐車の数について、事前説明の際に警察からは公表できませんという話をお聞きしました。それは委員会の中で説明されたほうが良いと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

申し訳ありません。御説明いたします。第1回の意見聴取会でお話がありました迷惑駐車の数データの管理について、枚方警察に問い合わせさせていただいて、調査協力を願いましたが、枚方市内全域分の駐車違反の数というのは可能のようですが、枚方市駅周辺だけに限った駐

車違反の件数というのは、どうしても集約ができない、そのデータがないということでございました。今回、迷惑駐車との比較という部分での提示はできませんでした。

○C委員

資料2の人口減少率の想定を8%減少とされていますね。少し低めに見てるとは問題ではないと思いますが、例えば、総務省の経営戦略等の指標や資料2の15歳以上の方というのが、4%も減少していないと思いますし、私が一見しただけでも、4%も減少しないのかと思いました。それでも、8%減少で計算したほうが良いということなら、問題はないと思いますが。

○C委員

資料3で宮之阪2丁目の交差点はこんなに渋滞するのかなと思いました。平成11年度から17年度に駐車場の利用料収入が減少しているにもかかわらず、平均旅行速度は上昇しているので、駐車場の利用に関係なく、渋滞していないというデータとなっています。恐らく道路整備等をしたのではないかなと思ひまして、比較すると速度が倍になっています。左側に1台停車したぐらいでは道路渋滞をしないというデータになっていると思います。迷惑駐車については、この道路拡幅によって失われたのではないかなと思いました。

○事務局

この辺りは、道路整備を以前よりよくやっていました。そのことから迷惑駐車が減少したということは多少あるのかもしれませんが。委員のおっしゃられるように、基的には道路整備が進んでというところは大きい理由かなと思っています。

○C委員

迷惑駐車が少なくなっているのであれば、条例の位置づけはどうなるのかなと思いました。また、将来の大規模修繕に備えて、基金の創設を考えていらっしゃると思いますが、基金条例の根拠をどうするのか。渋滞緩和のための駐車場の設備等を理由にすると本当に緩和することができるのかという話にもなりますので、先の話ですがご検討いただければと思います。

○事務局

ありがとうございます。ほかに何か御質問などありますか。

○C委員

資料5-1と5-2ですが、枚方市駅周辺から遠くなるとやはり、駐車料金が安く、1時間300円の駐車料金となっています。比較検証を行う場合、岡東町自動車駐車場周辺の2から10番までの駐車場が対象となると思いますが、7番はよく通るので、そこは安いだろうと思っていますが、少し驚いたのは4、5番がなぜ安いのか、その駐車場の立地があまりイメージできないのですが、何か理由があるのですか。

○事務局

4番、5番の駐車場は、入口までの道が少し狭い、大通りから見えにくいなどの理由が考えられます。

また、自動車駐車場の指定管理者の更新の関係で、事業者にヒアリングをしていたのですが、周辺の駐車場と比べても枚方市の駐車場料金は安いと言われています。もし、利用料金制で、管理運営するときは、料金の値上げを提案したいといわれています。

庁内的には、昨年度に、市施設の料金改正を検討しておりまして、岡東町自動車駐車場に関しましては、今回の経営戦略の中で料金を検討していくと説明してきました。

市施設の料金の算出方法がありまして、年間の維持管理費などの部分も含め、収入と支出も計算すると黒字という理由もありますが、数十円の料金の計算となりました。これは、現実味がない金額です。

今回、他市の駐車場料金も調べているのですが、枚方市は少し安いです。ただ、他市の周辺

駐車場で調べさせていただいても、30分100円を20分100円にしたとしても、他市に比べてもあまり高くはならないです。値上げ金額についても庁内会議でもお示しさせていただいています。あと、市民の皆様の見解を聴くために、今後、パブリックコメントを予定していますが、その中で意見をいただくと多少変わるかと思いますが、一定20分100円に値上げをしたとしても、あまり高くなるわけではないかと考えています。

○A委員

市の駐車場の料金設定が20分100円程度ならば、その経営戦略の中に、可能であれば、他の駐車場事業者に対するヒアリングができればより一層いいと思います。

○A委員

資料の5-1で、料金については27箇所の駐車場の平均を求められていますが、本来は、台数で加重平均しないと、料金がなかなか算出できないと思います。この資料を見ていると、3台ぐらいのところは600円、800円で、平均に近いところがあるので、あまり変わらないのかなと思います。

単純に27、28で割って平均料金を求めるのではなく、通常は台数で割る、台数を掛ける。平均掛ける台数で、それを全部足していって、最後に台数で割ってやるほうが、正確な数字が出てくるのかなと思います。

○事務局

ありがとうございます。

○A委員

資料4について、値上げをされると、利用者は減ります。利用者は減る値に関しては、今回のコロナ禍の影響を勘案して何かお考えになっていますか。具体的な数値というのは、どのようにその数を調整されているのですか。

○事務局

値上げに伴う利用者の減少に対して、調整はしておりません。

○A委員

これは実際に、去年と比べて、今年の利用者数が減りました。その割合としては大きいということですか。

○事務局

ももとの比率で、実際の去年の4月から7月、今年4月から7月の実績だと79%だったので、その79%を採用させていただいたもので、それにより減らした形です。

○A委員

具体的に減ったという意味では非常に根拠のあるデータと思いますが、値上げとコロナはまた別の話だと思います。

値上げして減るということではないですよ。人口減ですからね。

もし、お答えになる場合は、コロナのような事態で大きく減少したっていうので、安全の範囲を取りましたっていう理論で話されてはどうですか。

○事務局

直接的な原因という形の比率を採用したかということ、新しい社会生活の変化に伴って、去年と今年で大きく変わっている部分があるというお答えが、今後のスタンダードになるのではないかと判断して入れさせてもらった数字です。

○C委員

あまり値上げが原因と言いきらないほうがいいのかもしれないですね。

○A委員

あと、この程度の値上げならいいのかなと思います。恐らく駐車場を経営されてる方の民業圧迫にならないことも大事な要素と思っていますので、経営戦略の中に書いてはどうかと思います。

○事務局

料金の値上げについて、庁内で調整した中で検討させていただきます。もしかすると値上げ等の内容について、変わっていくことも考えられます。その点は、ご理解いただきたいと思います。

○C委員

定期の値上げについては、考えられていますか。

○事務局

周辺の月極駐車場も調べさせていただきましたが、1万円前後が多いので、比較してもそんなに遜色はないと思いますので、今回、定期料金の値上げは考えておりません。

○B委員

現在、最大料金を設定していますが、定期と同じ考え方で、料金変更をしないのですか。

○事務局

駐車場を1時間半から2時間前後ぐらいで、利用されている方が多いです。近くの商業施設の利用が中心と考えてますので、1日の最大料金を変更するところまで、影響はないかと判断をしていますので、最大料金変更は考えていません。

○事務局

いろいろとご意見ありがとうございました。資料2から5までの御意見については以上とさせていただきます。

枚方市自動車駐車場経営戦略（素案）について

○事務局

全会、資料1の枚方市自動車駐車場経営戦略は、(原案)でしたが、今回は(素案)とさせていただきます。前回との変更について、改めて御説明させてもらいたいと思います。

また、今回の意見聴取会にあたり、事前にご意見いただいているものも含めて変更していますので、よろしくお願ひします。

資料1を御覧いただくと表現等を変更しているところは、網掛け表記をさせていただきます。2ページの経営分析表の中で、単位がありませんでしたので、追記で単位を書かせていただいています。

3ページの(3)利用状況の分析の網掛けは、委員からご指摘がありました平均に誤りがありましたので、2.3を平均2.2に変更しました。

(4)経営状況の分析の網掛けは、ホームページの経営比較分析表と同じ名前に変更しました。

4.経営方針の(3)については、庁内の関係課会議におきまして、枚方市駅周辺整備との整合性を図っていくということで、変更しました。

5.投資財政計画(収支計画)の(2)の(a)の歳入についてですが、委員からご指摘いただきました収入の金額を提示させてもらいました2022年に値上げ、人口が8%低減して

いくというところの数字の最大値と最小値の金額を入れています。使用料については、近隣の民間駐車場の格差が大きいことから値上げを行う方向で検討しています。そのことから、現在、9,938万2,000円の使用料収入となっておりますが、本経営戦略では、将来的な値上げ及び人口減少等を考慮し、1億335万円から9,823万9,000円で推移するものと変更しております。

4ページの(b)歳出の説明について、こちらにおきましても、前回の(原案)では、指定管理料という表記でしたが、管理運営費という表記にし、内容も変更しています。

(c)の欄を新たに加えています。余剰金については、将来の大規模修繕等に向けて基金の創設を行いたいという項目をつけ加えています。

最後に5ページの6.経営戦略の事業検証及び更新等に関する事項の下に駐車場経営に影響を及ぼす法令等の改正や社会情勢の変化、市駅周辺のまちづくりが進むことによる駐車場利用の変化など、駐車場を取り巻く状況に変化がある場合にも、随時更新を行い、より効果的な投資財政計画になるよう、経営戦略を見直すとの表記に変更しました。

以上、資料1の経営戦略(素案)の変更点の説明とさせていただきます。

○事務局

資料1の経営戦略(素案)は、前回の意見聴取会でいただいたご意見、今回、事前説明時に委員からのメールでの質問等も反映させていただいた内容となっております。

この(素案)につきましては、資料4の3パターンのシミュレーションの中で、利用者数減少及び2022年度からの値上げを想定したもので(素案)の作成をさせていただきました。そのパターンを想定した資料4のA4サイズ横の資料を(素案)に追加することを考えています。

本来でしたら、資料4のA3サイズの資料が総務省からの書式になりますが、市民の皆様へ説明する場合、安定経営の状況が分かりにくいのではないかと庁内会議で議論されました。

また、今年の8月に経営戦略に関する研修があり、その中で確認を取らせていただいたところ、A3サイズの書式にはこだわらないとの回答を得ていますので、A4サイズ横の資料で進められたらと考えています。

総務省には、従来どおりA3の書式で報告はしていきますが、経営戦略の策定にあたり、市民の皆様にも経営状況が分かりやすいような形で御提示を出来たらと考えます。

○事務局

経営戦略(素案)の中にA4サイズ横の収支計画表を追加し、利用者8%減少、2022年度に料金の値上げを考えることを公表していく方向で検討していきますが、(素案)の3ページの(a)の(ア)で値上げを進めますという文言にすると決定したことなのかといわれる恐れがありますので、庁内調整、今後のパブリックコメントの御意見を経まして、文言表現を検討してまいります。

また、同じく4ページの(c)その他で、将来の大規模な修繕等に向けて基金の創設を行うと書いていますが、まだ庁内的に決まってないところがありますので、「検討を進めていきます」の表現で(素案)として、取りまとめをさせていただいて、パブリックコメントでの意見聴取を行っていこうと思っております。もう少し文言修正が、出てくるのではないかと考えています。

質疑、意見聴取

○事務局

それでは、資料1の経営戦略(素案)を見ていただいた中で、何かご意見等ありましたら、お願いします。

○B委員

3ページの4.経営基本方針の(3)の内容を事前に訂正をいただいているのですが、主語と述語の部分でまだ意味のつながりがおかしいと感じます。少し文章が省略されているか

と思います。

○事務局

担当部署と調整して、何個かキーワードを盛り込んでいますので、申し訳ございません。経営戦略の考え方として、将来、市駅周辺の再整備が行われる中で、歩行者を中心としたまちづくりをやっていくということとしており、駅周辺には車は入れないということで書いておまして、もう少し担当部署と調整をさせていただきます。

○事務局

お話を聞いていて、修正した部分があったことに気づきましたので、ここで報告させてもらいます。3ページの5. 投資・財政計画（収支計画）の（2）収支計画のうち投資についての説明ですが、4行目の「なお、経営戦略の対象期間中には、既存駐車場への大規模な施設更新等については行わない予定です。」と書かせていただいています。実は、この文章は第1回からは修正になっていまして、新規駐車場の建設という言葉が入っていました。こちらを取り除いた理由ですが、市駅周辺の再整備に伴って、整備の中で新規駐車場建設が追加されないと言いきれない部分があるので、市駅周辺の担当部署から、新規駐車場整備の可能性があるので、そこで言い切ってしまうのがまずいということで、文言の削除をさせていただきます。

4ページの（d）の（イ）の最後の3行についても同じような形で新規駐車場といった部分を削除させていただきました。

○A委員

4ページの（b）の（ア）の第5期と6期の間が点ではなくピリオドになっています。

○事務局

訂正します。

○B委員

4ページの（ウ）地方債の文章で、新規の起債はしませんとなっています。しかし、同じページの（d）今後検討予定の取組の中では、新規の起債について検討が必要になりますとなっていますので、整合性を取ったほうがいいと思います。

○事務局

訂正します。

○C委員

消費税は営業費用ではなく、営業外費用が正しいのです。税込みベースで営業収入から営業費用を差し引いたときに、税込みベースになるので、それに対して消費税がどれだけあるかということなので、営業外で処理することになります。

○事務局

分かりました。

○C委員

公営企業会計のルールが基本となりますが、一般会計というのは、営業内外の区別がないと思うのですが、ここに入れようとするので消費税は営業外費用になりますので、消費税分を営業費用から抜き出して、営業外費用に移してください。

○事務局

修正します。

○C委員

また、資料4-1の表ですが、マイナスの棒線表記を三角表記にしたほうがいいと思います。

○事務局

修正します。

ほかに、何か御意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。

いろいろとご意見等いただきまして、どうもありがとうございました。また、気になるところがありましたら、メールをしていただけましたら、修正ができますので、よろしく願います。

今後のスケジュール、次回聴取会予定等

○事務局

資料6のスケジュールについて御説明いたします。本日が第2回意見聴取会となっております。今回、いただいた御意見を基に、整理させていただいた上で、10月上旬から中旬にかけて第3回関係部課会議を予定しており、この会議を経て、(素案)を一定確定させ、令和2年11月下旬に建設環境委員協議会で(素案)を報告させていただき、12月にパブリックコメントで公表させていただいた中で、市民の皆様から20日間の予定で御意見をいただいて、すぐ集約した後、年内に取りまとめ、令和3年1月7日の第3回意見聴取会を行わせていただき、修正点とパブリックコメントの集約内容を説明させていただき、御意見をいただく予定です。その意見をまとめた上で、令和3年1月中旬に再度、関係課会議を行い、2月の建設環境委員協議会で説明・報告し、令和3年3月に経営戦略の策定をして、総務省への報告及びホームページ上での公表という形で進める考えであります。

以上、説明といたします。

○事務局

本日いただきました御意見を反映した(素案)で10月中旬に庁内会議の中で、修正が入ると思います。その最後、パブリックコメントの実施前の(素案)を委員の皆様にもメールで送らせていただきます。また、12月のパブリックコメントの意見集約をした資料についてもメールで送らせていただき、次の第3回の意見聴取会が1月7日、年明けすぐになりますので、年内に送らせていただきます。年始、お忙しい中での開催となりますが、どうぞよろしくお願い致します。

以上で、第2回枚方市自動車駐車場経営戦略に関する意見聴取会を終了いたします。

本日は、どうもありがとうございました。

(閉会 午前11時)